

米軍基地環境カルテ

久米島射爆撃場（施設番号：FAC6080）

平成 29 年 3 月

沖 縄 県

目次

78. 久米島射爆撃場（施設番号：FAC6080）	78-1
78.1 基本情報	78-1
78.1.1 名称	78-1
78.1.2 所在地、広さ（施設面積）	78-1
78.1.3 施設の概要等	78-2
78.1.4 施設の管理及び用途	78-2
78.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	78-2
78.1.6 土地利用規制図	78-3
78.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	78-3
78.2.1 基地等の土地の状況	78-3
78.2.1.1 地形分類図	78-3
78.2.1.2 表層地質図	78-3
78.2.1.3 土壌図	78-3
78.2.1.4 切盛土分布図	78-3
78.2.2 基地内の施設の使用状況	78-3
78.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	78-3
78.2.2.2 施設等使用履歴	78-3
78.3 基地等の環境状況	78-3
78.3.1 自然環境（植物）	78-3
78.3.1.1 現存植生図	78-3
78.3.1.2 植生自然度図	78-3
78.3.1.3 特定植物群落	78-4
78.3.1.4 重要な種、貴重な種等	78-4
78.3.2 自然環境（動物）	78-4
78.3.2.1 重要な種、貴重な種等	78-4
78.3.3 水利用状況	78-4
78.3.3.1 水利用状況	78-4
78.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	78-4
78.3.3.3 河川及びダムの分布状況	78-5
78.3.4 地下水の状況	78-5
78.3.4.1 地下水基盤面等高線図	78-5
78.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	78-5
78.4.1 事故等の概要	78-5
78.4.2 事故等発生場所	78-6
78.5 環境調査を実施する場合の留意事項	78-6
78.6 その他情報	78-6

78.7 環境等に関する通常監視について	78-6
----------------------------	------

78. 久米島射爆撃場（施設番号：FAC6080）

78.1 基本情報

78.1.1 名称

久米島射爆撃場（施設番号：FAC6080）

78.1.2 所在地、広さ（施設面積）

<昭和 47 年 5 月 15 日>

所在地：仲里村字字根

広 さ：約 2 千㎡

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15 メモ等）（仮訳）」（1972 年 5 月）

(http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf) を参照

<平成 25 年 3 月末現在>

所在地：久米島町（字奥武）

広 さ：2 千㎡

地主数：1 人

駐留軍従業員数：－

出典：沖縄県ホームページ「FAC6080 久米島射爆撃場」

(<http://www.pref.okinawa.jp/site/chijiko/kichitai/1232.html>、平成 29 年 1 月 10 日閲覧) より引用

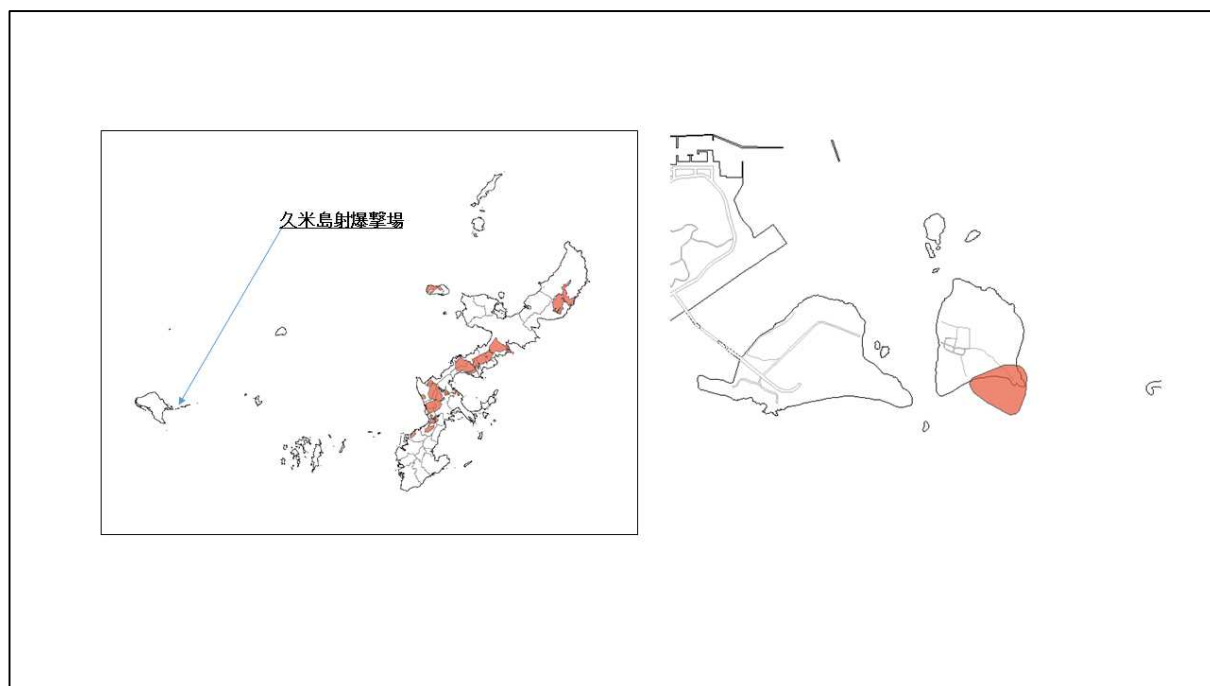


図 78-1 久米島射爆撃場の位置図（平成 28 年時）



出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

図 78-2 久米島射爆撃場の航空写真

78.1.3 施設の概要等

久米島射爆撃場は、久米島町真泊より御願岬に通じるリーフ約 12 キロメートルの中間に位置し、わずかな樹木があるほかは砂浜である。

同施設では、現在航空機が地上目標に向かって降下して実際の射撃は行わないで上昇していく空対地模擬計器飛行訓練が行われている。日曜日を除き、連日のように訓練が実施されている。

この施設は、昭和 53 年 3 月 10 日付で「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第 9 条に基づく特定防衛施設に指定された。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

78.1.4 施設の管理及び用途

管理部隊名：第 18 航空団第 18 運用群

使用部隊名：空軍、海軍、海兵隊

使用主目的：空対地射爆撃場

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

78.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

<返還計画>

なし。

<跡地利用計画>

策定されていない。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

78.1.6 土地利用規制図

久米島射爆撃場及び周辺の土地利用規制図を図面集「[土地利用規制図D](#)」に示す。

78.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

78.2.1 基地等の土地の状況

78.2.1.1 地形分類図

久米島射爆撃場及び周辺の地形分類図を図面集「[地形分類図D](#)」に示す。

78.2.1.2 表層地質図

久米島射爆撃場及び周辺の表層地質図を図面集「[表層地質図D](#)」に示す。

78.2.1.3 土壌図

久米島射爆撃場及び周辺の土壌図を図面集「[土壌図D](#)」に示す。

78.2.1.4 切盛土分布図

久米島射爆撃場の切盛土分布図は作成されていない。

78.2.2 基地内の施設の使用状況

78.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）

久米島射爆撃場の施設配置図は確認できなかった。

78.2.2.2 施設等使用履歴

昭和 37 年 9 月 14 日 米軍が使用開始。

昭和 47 年 5 月 15 日 「久米島射爆撃場」として提供開始（使用主目的：空対地射爆撃場）。

昭和 53 年 2 月 27 日 施設管理権が海軍から空軍に移管。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

<主要建物及び工作物>

建 物：－

工作物：射場

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

78.3 基地等の環境状況

78.3.1 自然環境（植物）

78.3.1.1 現存植生図

久米島射爆撃場及び周辺の現存植生図を図面集「[現存植生図D](#)」に示す。

78.3.1.2 植生自然度図

久米島射爆撃場及び周辺の植生自然度図を図面集「[植生自然度図D](#)」に示す。

78.3.1.3 特定植物群落

久米島射爆撃場及び周辺において、特定植物群落の該当はない。

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年3月、環境庁自然保護局生物多様性センター）を参照

78.3.1.4 重要な種、貴重な種等

久米島射爆撃場及び周辺の重要な種、貴重な種等（植物）は確認できなかった。

出典：「～平成27年度版～文化財課要覧」（2015、沖縄県教育庁文化財課）を参照

78.3.2 自然環境（動物）

78.3.2.1 重要な種、貴重な種等

久米島射爆撃場のある久米島町で生息が確認された又は生息が可能或いは推定される、重要な種、貴重な種等（動物）は63種類いる。

出典：「自然環境の保全に関する指針 [宮古・久米島編]」（平成11年3月、沖縄県文化環境部自然保護課）を参照

78.3.3 水利用状況

78.3.3.1 水利用状況

久米島射爆撃場及び周辺の水利用状況は確認できなかった。

78.3.3.2 井戸・湧水の分布状況

久米島射爆撃場及び周辺の井戸・湧水分布状況は作成されていない。

78.3.3.3 河川及びダムの分布状況

久米島射爆撃場及び周辺の河川、ダム分布状況を図 78-3 に示す。久米島射爆撃場及び周辺に、二級河川、準用河川、国・県管理ダムはない。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平成 29 情複、第 301 号）」
 出典：「国土地理院地図（平成 29 年 3 月）」、「国土数値情報のデータ（河川情報）」、
 「沖縄防衛局管内防衛施設図（米軍基地範囲）」（平成 28 年 12 月 31 日現在、沖縄防衛局）を参照
 図 78-3 久米島射爆撃場及び周辺の河川、ダム分布状況

78.3.4 地下水の状況

78.3.4.1 地下水基盤面等高線図

久米島射爆撃場及び周辺の地下水基盤面等高線図は作成されていない。

78.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等

78.4.1 事故等の概要

久米島射爆撃場における米軍の活動に起因する環境関連事故等の情報は、「沖縄の米軍基地」（沖縄県）、「環境白書」（沖縄県）では確認できなかった。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 15 年 3 月、沖縄県基地対策室）、
 「沖縄の米軍基地」（平成 20 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）、
 「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）、
 「環境白書【平成 24 年度報告】」（2014、沖縄県環境部環境政策課）、
 「環境白書【平成 25 年度報告】」（2015、沖縄県環境部環境政策課）、
 「環境白書【平成 26 年度報告】」（2016、沖縄県環境部環境政策課）を参照

78.4.2 事故等発生場所

久米島射爆撃場における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

78.5 環境調査を実施する場合の留意事項

久米島射爆撃場は、島全体が演習場として使用されているが、訓練の内容や使用弾薬等の情報が詳細に把握できていない。

- 1 演習場として使用されているため、実施された訓練の内容や使用弾薬等の情報を正確に把握し、調査計画立案に反映させる必要がある。
- 2 演習場内には不発弾の存在が懸念されることから、環境調査を実施する前に安全性を確認する必要がある。

78.6 その他情報

沖縄県が、米国立公文書記録管理局（National Archives and Records Administration, NARA）（以下、「NARA」と言う。）で収集した在日米軍関係資料のうち、久米島射爆撃場及び周辺に関する環境関連情報の概要を表 78-1 に示す。

久米島射爆撃場及び周辺については、以下の資料が確認された。

表 78-1 久米島射爆撃場及び周辺に関する環境関連情報の概要（NARA 収蔵）

年月日	場所	資料の種類	概要
1969年 3月17日	—	文書	米空軍・海軍による航空機から地表への爆撃訓練について記されている。

78.7 環境等に関する通常監視について

久米島射爆撃場において、沖縄県による環境等に関する通常監視は行われていない。

出典：「昭和 51 年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、
 「昭和 53～平成 16 年版 環境白書（昭和 52～平成 15 年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、
 「環境白書【平成 16～26 年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照

